

おかやま子ども応援事業

～10年間の歩みと今後について～



岡山県教育庁生涯学習課 東川 絵葉



岡山県「ばっちり!モグモグ」
生活リズム向上
マスコットキャラクター



H18
教育基本法改正
「学校・家庭及び地域住民等の相互の連携協力」

H27
地域学校協働答申

H29
地教行法・社会教育法改正



H23～

H20 学校支援地域本部の推進

H28～

R2～

H16
地域子ども教室

H19 放課後子ども教室の推進
放課後子どもプラン→放課後子ども総合プラン→新・放課後子ども総合プラン

H26 土曜日の教育活動の推進

H27 地域未来塾の推進

H19 家庭教育支援の推進
(早寝・早起き・朝ごはん国民運動 家庭教育支援チーム等)

地域学校協働活動の推進

学校運営協議会と地域学校協働活動の
一体的な取組を推進

地域ぐるみで子どもを育てる体制整備
子どもを核とした地域づくり

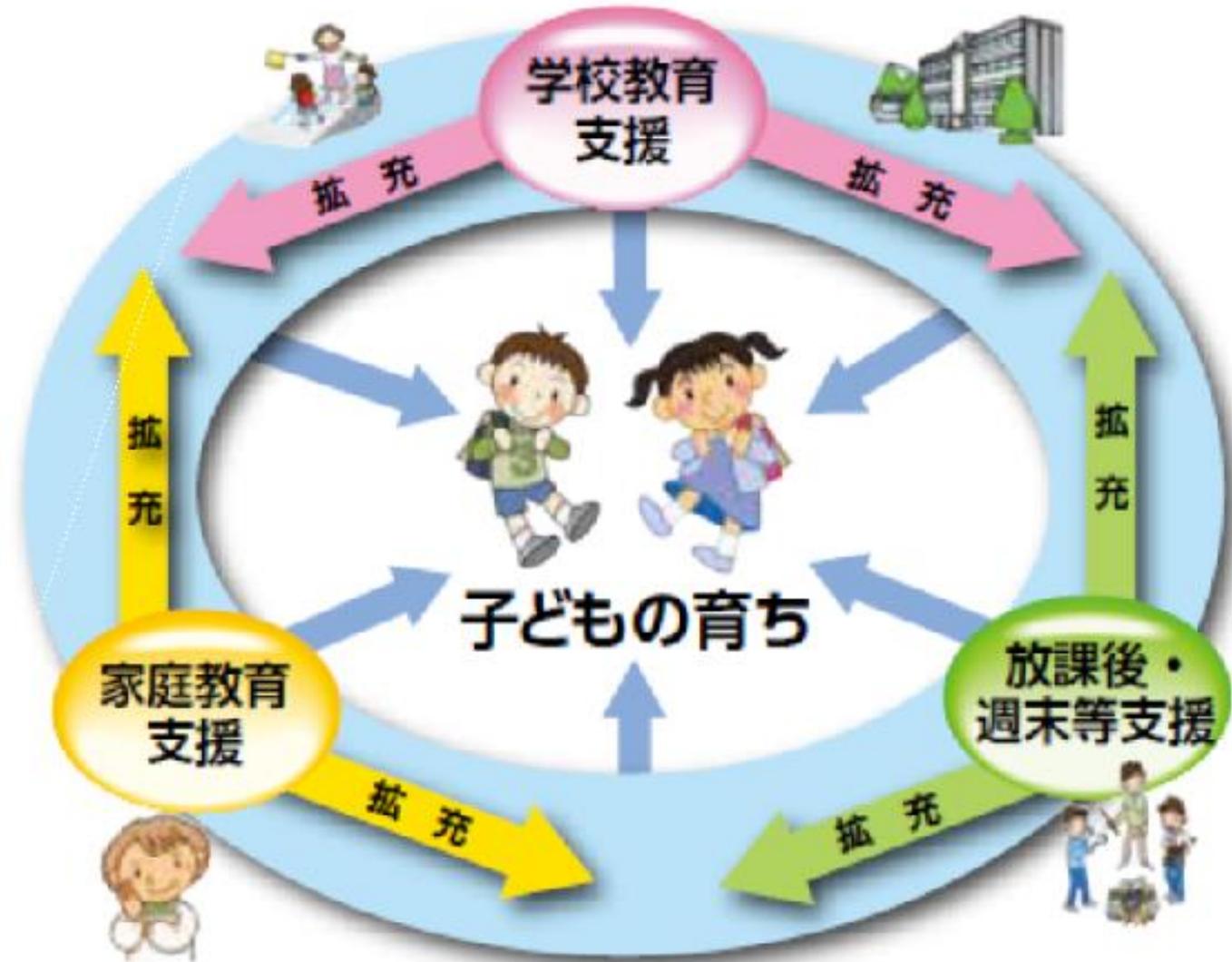
学校と地域が協働して

連携から協働へ！



おokayama子ども応援事業

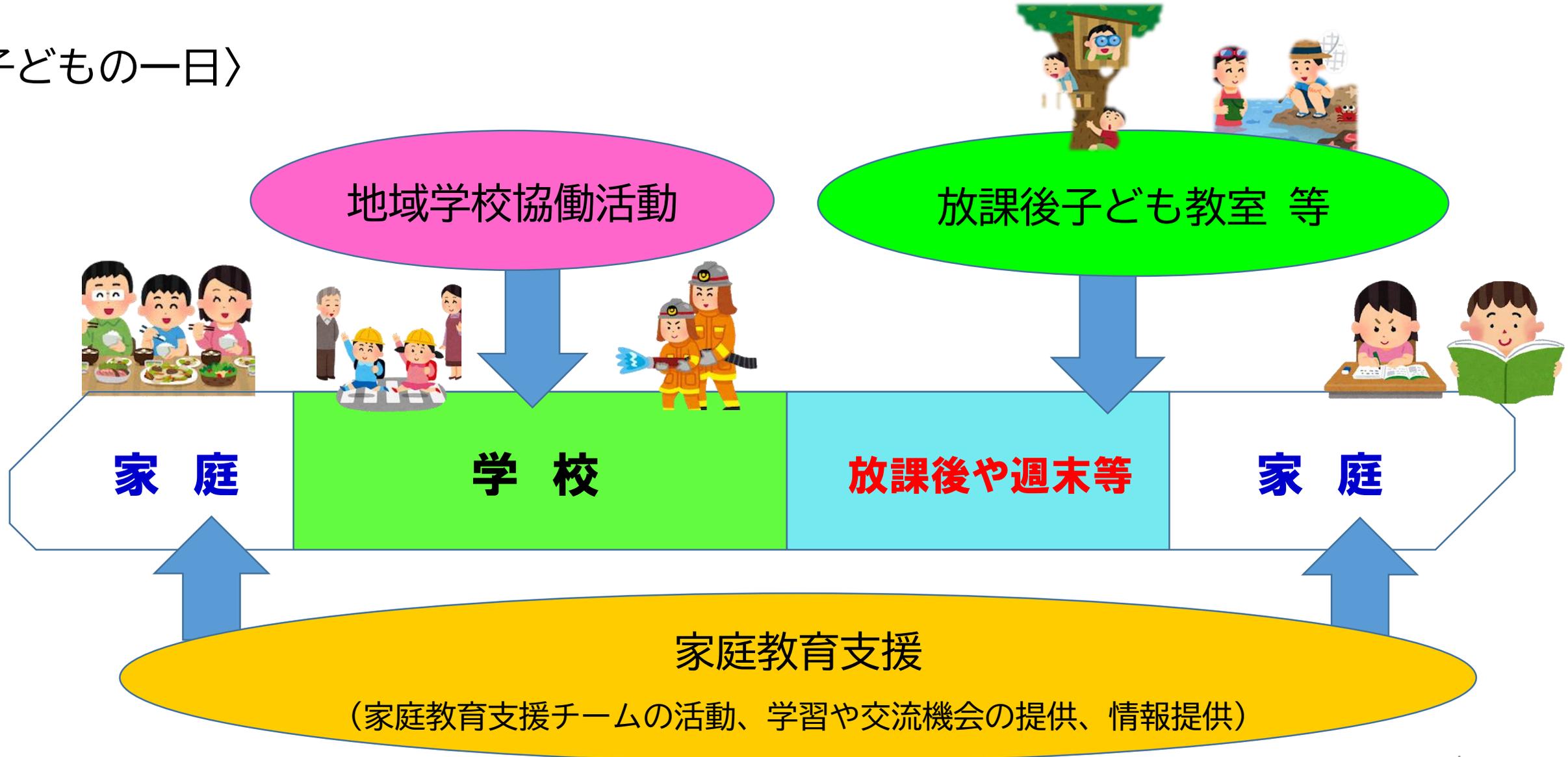
おかやま子ども応援事業



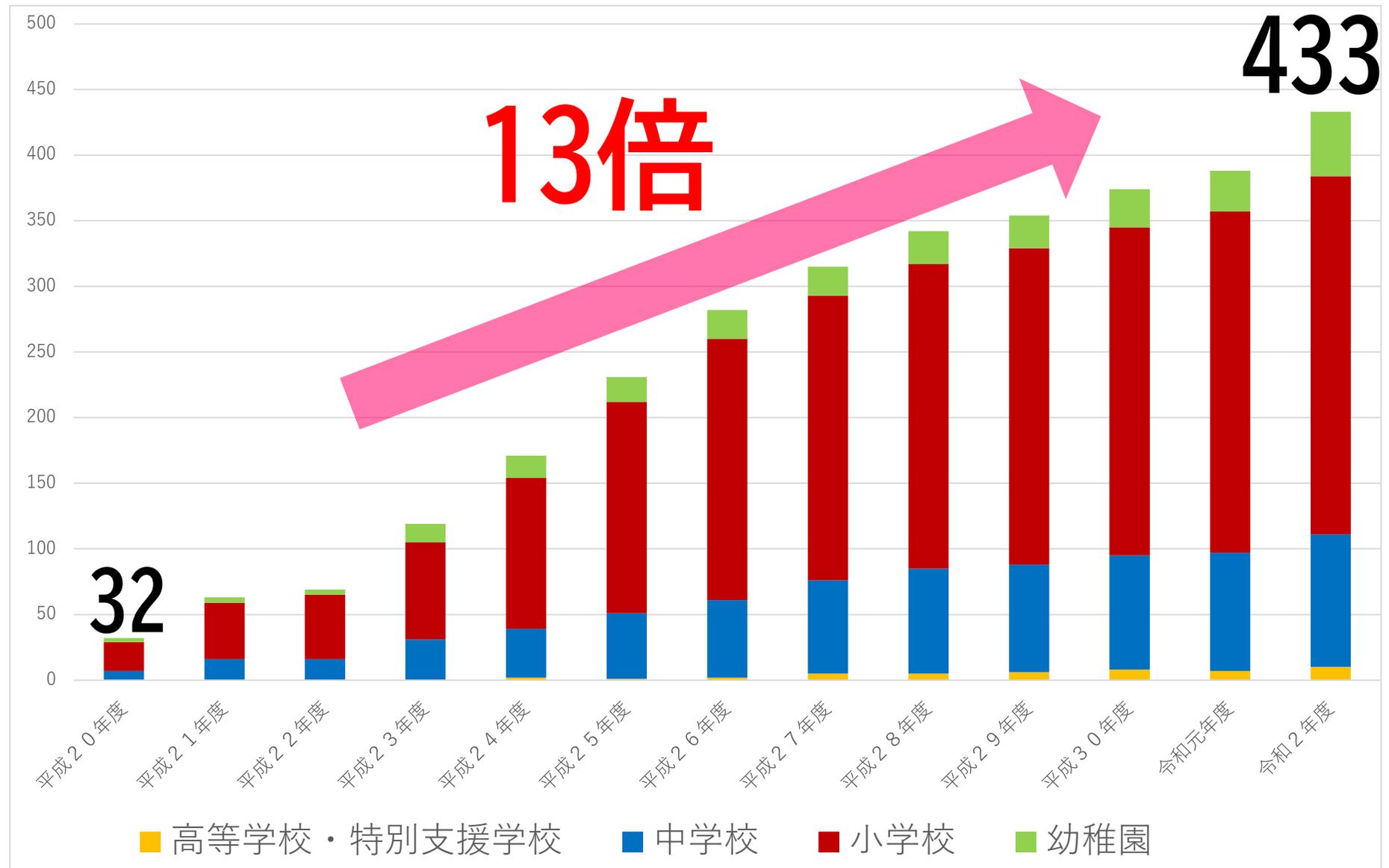
地域ぐるみで子どもを育てる体制整備

おかやま子ども応援事業

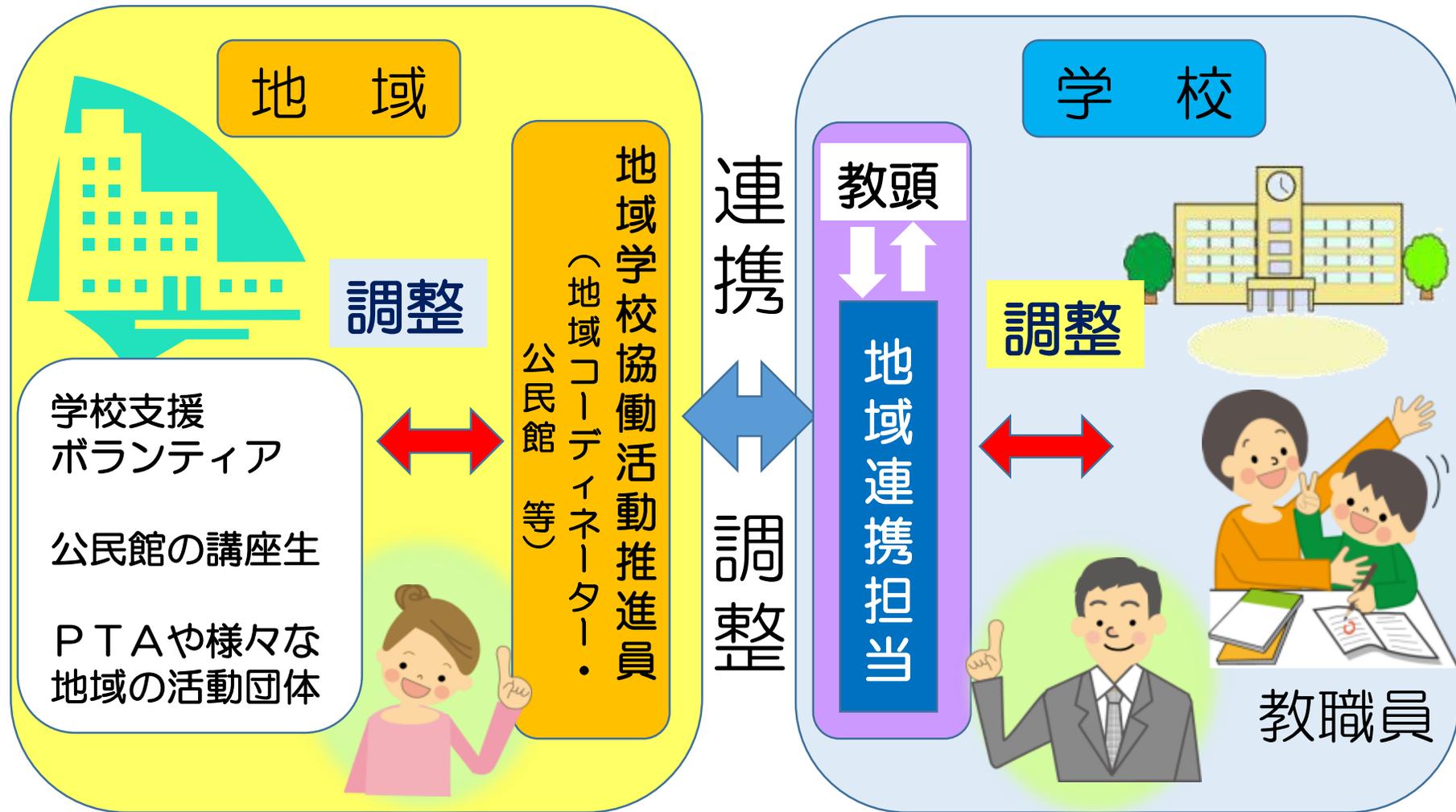
〈子どもの一日〉



岡山県の「地域学校協働本部」実施校園数の推移



「地域学校協働活動推進員」 「地域連携担当教職員」 の役割



「地域学校協働活動推進員」は
地域と学校をつなぐキーパーソン

「地域連携担当」は
学校と地域をつなぐキーパーソン

放課後子ども教室 等



茶道教室



公民館での通学合宿



教員OBによる学習支援



留学生による英語学習

家庭教育支援



「親育ち応援学習プログラム」を活用した学習機会の提供



家庭教育支援チームによるサロン活動



企業等への家庭教育出前講座の実施



訪問型家庭教育支援チームによる情報提供

おかやま子ども応援事業の成果と課題

(市町村担当者へのヒアリングから)

【成果】

- ・ 地域と学校の連携・協働の活動が活発になり、地域住民の学校に対する関心が高まった
- ・ 地域文化の継承など、子どもの体験活動の充実
- ・ 学校支援から始まり、協働に関わる仕組みづくりが進んだ
- ・ 教師の業務負担の軽減につながっている

【課題】

- ・ 後継者不足、ボランティア不足(高齢化)
- ・ 予算(国の補助金)
- ・ 学校との連携、協働
- ・ コミュニティスクールを含めた持続可能な仕組みづくり

今後の展望

おかやま型地域と学校の連携・協働イメージ【案】

